



発行 東京片貝会
責任者 本田秀幸
大田区南久が原2-32-10
電話090-4831-5580

東京片貝会
新年会 中止!

新型コロナウイルスがまだ収束とはいえない状況下ではありますが、皆さんお変わりはありませんか。

今年も新年会の準備をしていきましたが、新型コロナウイルスの感染が心配される状況に鑑み、参加いただく皆様の健康と安全を考慮し、誠に勝手ではございますが中止とさせていただきます。
いつの日か、また元気な皆さんとお会いするのを楽しみにしています。
寒さ厳しい季節となりましたので、お体を大切に、よいお年をお迎えください。

新型コロナ禍における会の対応

会長 本田秀幸

今年の新年会開催後から拡大したコロナ禍は、2月の外出自粛から「緊急事態宣言」と拡大し、それが解除されて半年経ても未だに感染が静ま

らない状況です。オリンピックは延期、9月の片貝まつりは中止となるなど大切な行事が軒並み開催見合わせをよぎなくされました。
多人数での会合、飲食を避けるべき状況から、東京片貝会も6月の定期総会と来年の新年会もやむなく中止とさせ

ていただきました。

今の状況では、来年も集会が出来るか危ういと想われ、会の気力が徐々に削り取られていくような危機でありま

す。
しかし、片貝では継続しての花火の打ち上げや町民駅車の開催、ゲートボールチームの活躍など、徐々に元気を取り戻しています。

役員任期は切れておりますが、現在の役員で次の総会まで勤めさせていただいています。

理事会の集まりもままならないものの、メールを駆使するなど、教育講演会の主催や母校への図書費贈呈などを継続すると共に、ホームページで情報をお伝えし、会報を定期発行して皆様や郷里片貝との繋がりを強めていきたいと思えます。

コロナ禍解消後に、また皆様と歓談できる日がくるのをを楽しみに、お互いに頑張りましょう。

人物探訪 第七回
若杉会 佐藤祐一さん



佐藤祐一氏

東京片貝会第五代会長佐藤祐一さんの紹介です。

佐藤さんは中学校時代から溢れるようなアイデアと豊富な知識を持たれ、たびたび中学校新聞に寄稿されるなど、周りからは将来を嘱望された方でした。

東北大学理学部大学院修士(化学)修了後、博士号(理学博士)を取得され、同大学理学部助手、東芝で電池開発研究部長を経て、神奈川大学工学部教授、工学部長となられ、その間、長年にわたり新電池開発研究に熱心に従事され、日本のみならず世界における科学技術の発展に大きく寄与されておられます。電池をはじめとする電気化学分野の多数の論文、著書のほか、故郷をテーマにしたエッセイ集も発行され、又専門分野において、日本化学会進歩賞、電気化学会棚橋技術賞を受賞され、他にも多数の賞を受けておられます。

東京片貝会に目を向ければ昭和五十八年に第二代会長佐

藤量八さんと共に母校で学ぶ生徒を励まそうと図書を贈ることで設立された「母校を励ます会」の初代会長を十年間ほど勤められました。この会は数年の活動と思つて創設されたようですが、現在でも継続されており佐藤さんをはじめめとして、その基礎を作られた方々の思いが非常に大きかったものと思います。

そして、平成六年から片貝会副会長を十年間、平成十六年から第五代会長となられ五年間ほど勤められました。佐藤さんは当初会長職を大変固辞されておりましたが、誠実さ、優しき、包容力のある佐藤さんをと、推す力が大きくなり会長となられました。会長の間、事務局体制の導入、東京片貝会のホームページの開設、現在のグリーンパレスへの会場移転、片貝会創立五十周年記念総会開催等々、数々の改革と将来の片貝会を見据えたアイデアと知恵と決断力でその足跡を残されました。そして今でも常に片貝会の発展に心を寄せてくださつておられ、これからも多方面にわたりご支援を頂きたい方

です。
記 新辰巳会 黒崎 勝

会の動き

- 理事会 中止 4/19
メールにて議事連絡
理事会 中止 5/24
会報発送
第61回東京片貝会総会 中止 6/28
教育講演会 開催 10/9
於 片貝中学校
講師 郷 貴大氏
コロナ禍で当会の出席自粛
理事会 11/15
於 新潟県人会館
本代会長以下 11名
経過報告
・新年会開催是非
・役員改選の件
・会報作成進捗



→理事会後、フェイスシールドとマスク着用して自費で柿の種とビールの久しぶり懇談

片貝花火サポーターズ 倶楽部の花火プロジェクト

片貝まつりでの奉納煙火の中止に伴い、片貝の花火文化を守ろうと町民有志が片貝花火サポーターズ倶楽部（安達靖さん代表）を結成し、「みんなの想いが花咲くまち片貝プロジェクト」と銘打って、今年10月末まで花火の打ち上げを実施しました。3密を回避するため、打ち上げ日の告知を行わないなど独自の対策を設け、当初は町内限定であったが、反響が大きく町外からも参加可能となった。

片貝花火サポーターズ倶楽部
発足までの経緯

代表 安達 靖

昨秋、片貝町内の花火好き有志が顔を合わせ、町の財産である花火で片貝町を盛り上げていこうと会合を開いたことがスタートで、「花火と職人のまち」と言えど、本格的な花火は片貝まつりしかなく、年中花火が揚がる町にしていきたいとみんなの想いが一つにまとまる。第1弾として今年の元日に「新春福花火スターマイン」の実施、第2弾として4月25日の春祭りに花火打ち揚げ企画をしていたが、新型コロナ感染症拡大を受け中止、そして5月中旬

に9月の「浅原神社秋季例大祭奉納大煙火」も中止が決定されました。



6月、片貝まつり奉納煙火中止を受け、片貝花火文化継承のためにも、今年の奉納を諦めかけていた方への煙火奉納機会の提供と、全国各地の花火大会中止を受け、休業を余儀なくされ苦境に立たされた地元花火業者（片貝煙火工業）への支援が必要と「片貝花火サポーターズ倶楽部」を組織化し、「みんなの想いが花咲くまち片貝プロジェクト」を企画しました。

一方で、新型コロナウイルス感染症はまだ収束の兆しも見えず、まだまだ見通せない状況にあります。そこで、今後もう少しでも打ち揚げの機会を確保するため、11月より『みんなの想いが花咲くまち片貝 くふゆ物語』として来年3月末までの原則土日に奉納煙火打ち揚げを実施することといたしました。

町のいきなり

令和2年度 春の叙勲

旭日小綾章に元小千谷市議会議員の吉原正幸さん（高見）。地方自治功勞で叙勲。市議24年でもなかでも平成15年から2度に渡って議長を務めた。議員生活の中で中越大震災で市役所に3日間泊まり込んで対応に当たったことや、現在の上皇ご夫妻ご来谷の際に案内役を務めたことが印象深いという。

太子堂取り壊しへ

浄照寺境内にある太子堂は仏教建築の祖とされる木造の聖徳太子像を祀り、片貝の職人たちが数百年守り続けてきた。今後の管理への懸念から同寺の本堂改修に合わせて取り壊される。お堂内には経本や中国の古典書籍なども所蔵されており、郷土史研究会や市生涯学習課などが今後詳しく調査する。聖徳太子像は改修後の新しい本堂に安置される。

市展で片貝から多数入選

今年6部門に440点が出演され、審査の結果、片貝から多数の入選者が出た。《日本画》▽市長賞・相崎重明（四之町）《水墨画》▽市長賞・佐山英一（稲場）《写真》▽佳作・神林繁行（一之町）《工芸・彫刻》▽新潟日報美術振興賞・山口篤（一之町）

「ご寄付者名」

【東京片貝会へのご寄付】

左記の方々から東京片貝会へご寄付を頂きました。厚く御礼申し上げます。（敬称略）
太刀川三郎（15）、阿部修次（21）、友田善智（22）、大坂照子（25）、石橋行夫（27）、安達隆（28）、安達弘之（30）、小野塚清・熊谷満里子（31）、安達 弘（33）、小宮三郎（35）、本田秀幸（37）、芝 強（38）、阿部清（40）、安達亮一（42）、内藤富美子（43）、藤塚伸雄（48）、山口昌幸（55）

「雪国で手塩にかけて作った”白い宝石”」
米どころ雪国おぢやでつくられた”魚沼産コシヒカリ”
清らかな水と肥沃な土地で丹精込めて作った逸品です。
おいしさと安心を追求した黄金色の稲穂から精米された”白い宝石たち”
その炊きあがりの艶と風味の良さは魚沼産ブランドの名にふさわしい逸品です
詳細は ⇒ JA 越後おぢや 検索
JA 越後おぢや
〒947-0031
新潟県小千谷市土川1-12-25
☎0258-83-3425

YSS YAMAGUCHI MFG Co., Ltd.
”開発から量産までトータルソリューション”
精密金型製造・各種プレス加工
株式会社 山口製作所
新潟県小千谷市片貝町10245-1
TEL 0258-84-2308
FAX 0258-84-2080
URL http://www.yssmfg.co.jp
マツダオートザム小千谷
株式会社ロータス片貝
小千谷市片貝山屋町1-1
電話番号 0258-84-2405

第38回母校を励ます会教育講演会

演題「運動の科学」

郷 貴大氏 昭和61年卒 翔心会
令和2年10月9日 片貝中学校にて

今年の講師、屋敷出身の郷さんは理学療法士です。骨折や病気からのリハビリや、運動選手の強化やケガ予防を現場でサポートするとともに、県内外で後進の指導にも活躍しています。

骨や筋肉の動かし方はもちろん、神経や内臓の働きなど、ヒトの身体を複合的に診ながら医療チームと組んで大きな役割を果たしておられます。

講演を終えて

郷 貴大さん

この度は、コロナ禍にあっても大変貴重な機会を頂けたことに心より感謝申し上げます。

私の仕事の関係で、理学療法士を目指す学生や保健・福祉職を目指す方の講義は経験があります。しかし、今回は医療・福祉に興味があるとは限らない小・中学生や地域の方々を対象ということで講演の内容は試行錯誤しました。結果的には皆様のお役に立てることを一つはお伝えできたのでは

しかも子どもから高齢者まで、また家族も交えてなど幅広い相手に、本人の気持ちになつて生活の改善のために取り組む仕事です。それだけに、ひとくりに考えるのは難しく、またそれが面白いところでもあるそうです。

スポーツ競技を意識したトレーニングをするときは「上手になりたい」身体の動かし方に近い運動に取り組むと

ないかと思えます。

今年はこのような講演が学校では初めてとお聞きしました。片貝まつりもない今年は、東京片貝会の皆様をはじめ、多くの方々を例年以上に片貝町を盛り上げようと努めておられます。

今後、我々翔心会も片貝町の一助になれるよう努めていきたいと思えます。感染状況は、片貝町とて安心できませんが、関東圏はさらにシビアなようです。皆様のご健康とご活躍を片貝町よりご祈念申し上げます。



もに、昔からの常識にとらわれて運動しすぎない、また安全に足腰を鍛えることが大事です。睡眠も大事です。

科学的にも運動の取り入れ方しだいで記憶力、認知能力、集中力などに効果が上がるとされています。特に「二重課題」といつて頭と身体を同時に別のことに使う練習は効果があります。また勉強やじつくり考える前に少し身体を動かすと調子よくなるもの

です。しかもウォーキングやジョギング、筋トレといった身近な運動が不安を解消するきっかけになるとの研究もあるとのこと

このように具体的に取上げられたトレーニングを実際にどうこなしたらよいか、児童生徒とともに椅子から立ち上がって身体を動かしてみ

ました。紙面でもその一部を

紹介していますのでお試しく

ださい。児童生徒からは「これからの部活や生活に活かしていきたい」「偉い人の発言が正しいことかどうか、素直さだけでなく、自分の意思も持ちたい」といった感想が聞かれました。

まだまだ安心とはいえない折ながら、小中学校の先生方、同窓会の皆様はじめいつにな

いお骨折りをいただきつつ例年どおり開催できました。なお東京片貝会と母校を励ます会からの出席は見合わせ、冒頭あいさつや講師紹介は代読

【母校を励ます会基金】

「協力者名」

(敬称略(本年4〜10月))

太刀川三郎(15)、阿部修次(21)、友田善智(22)、石橋行夫・佐藤祐一・藤塚文顕(27)、相内テル・安達隆・品田紀美子(28)、横田房枝(29)、安達弘之・本田十三雄(30)、飯島ヤイ子・小野塚清・熊谷満里子(31)、諸我時夫(32)、安達弘(33)、熊谷正子・小宮三郎(35)、高野鈴子・寺町明美・本田秀幸・吉原敏明(37)、芝強(38)、

谷内弘(39)、阿部清(40)、安達亮一・勝又一司(42)、内藤富美子(43)、深江久美子(46)、藤塚伸雄(48)、山口昌幸(55)、相崎清輝(57)、中島麻理子(H2)

やってみましょう

講師の郷さんが紹介したトレーニングの一部です。椅子に座りながら手足だけ動かしてもできます。立ちながらのときは周囲に気をつけて動きましょう(それぞれに合った運動になるように、少し手を加えています)。

① 1から30くらいまで数字をかぞえながら腕振り



② 慣れたら足踏みしながら「4」の倍数では声を出さず代わりにポンと手をたたきます。「1、2、3、ポン、5、6、7、ポン」といった具合です。



③ さらに慣れたら手をたたくときは足踏みをする片足を上げたまま止めます(など)。

印半纏、のれん、手拭
各種染織品誂処
日本伝統織物 片貝木綿製造元

(有) 紺仁

〒947-0101
新潟県小千谷市片貝町4935
☎0258-84-2016
http://www.konni-aizome.com
konni@echigo.ne.jp

有限会社 米萬商店
KOMEMAN SHOTEN

代表取締役 相崎秀人(鳳凰会)

米萬 検索

小千谷市片貝町5347
Tel 0258-84-2057

医療法人社団 紅鶴会

片貝醫院

〒947-0101
新潟県小千谷市片貝町4935
☎0258-84-2016
http://www.konni-aizome.com

※有料企業広告を募集中※

感動空間 新宿レフカダ

落語、漫才、コンサート
楽しい事がここにある

芝 強(昭38年卒)
新宿区新宿5-12-4
☎03-5366-0775
http://lefkada.jp/

ふるたつとは・今

令和2年6月より
令和2年11月まで

母校近況

■小学校 大原教頭先生
【PTA親子ふれ合い奉仕作業】

今年度初めて大勢の保護者が参加した活動となりました。学年ごとに分かれて、グラウンドや教材園・なかよし花壇の草取り、側溝清掃、体育用具室清掃等に親子で汗を流しました。みんなの力で学校がピカピカになり、気持ちのいい2学期を迎えることができました。



【6年佐渡修学旅行】

「本当に行けるのか?」と心配されましたが、時期を動かして、なんとか実施できました。1日目は、たらい船体験や太鼓交流館での活動、ゴールドパークでの砂金採りを満喫。

夕飯はカニをメインにした。ちそうで満腹に、その後鬼太鼓の実演に感動しました。2日目は佐渡金山とトキの森公園へ。6年生全員で、楽しく元気で決まりよく、佐渡の自然と文化に浸ってきました。



【花火ポスターを地域に配付】

手にポンポンを持った1・2年生が花火をかたどってグラウンドに並び、オノヅカ精工の小野塚昇さんからドローンで撮影していただきました。それを、ポスターにして「地域の皆さんに元気になってもらおう」といろいろなお店に配付し掲示してもらいました。子どもたちは「まつりは中止になったけど、この花火で元気を出して」と思いを

伝えました。その様子は新潟日報でも紹介されました。



【スポーツフェスティバル】

前日の雨でグラウンド状態が心配されましたが、朝早くからPTA役員さんを中心に、大勢の保護者の皆さんがスポンジで水をとり、グラウンド中に砂をまき、無事実施できました。「新しいスポーツフェス、全力で勝利を勝ち取れ!」をスローガンに子どもたちは徒



競走、リレー、応援合戦に全力で取り組みました。今年度初の鼓笛演奏も披露され、記憶に残る運動会になりました。

【あいさつキャンペーン】
保・小・中学校が連携し、地域中にあいさつが飛び交う明るい片貝町を目指して取り組みました。小学校玄関前には毎朝中学生が立ち、通学路のあちこちには「あいさつし隊」ボランティアの皆さんが立って子どもたちとあいさつを交わしました。前日には、保・小・中連携花火「尺2発」を打ち上げ盛り上げました。



■中学校 佐藤教頭先生

本年度は、中学校体育連盟「夏季各種大会」と吹奏楽連盟「各種コンクール」が中止となりました。その代替として、7月下旬に「小千谷市中学生交流試合」が開催され、3年生にとって、区切りの試



合となりました。

そのような中、コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、8月29日に体育祭を開催しました。「Break the wall」新たな体育祭へ「スローガンのもと、自分の中の壁とコロナによる暗い雰囲気壊そうと、新しい生活様式の中で、新たな体育祭を創りあげていこう」という2つの意味

が込められていました。当日は、素晴らしい晴天に恵まれ、炎天下の中でしたが、重い熱中症や怪我もなく、今年にしかできない特別な体育祭となりました。

ローラーズスキーでは、藤塚美礼さん、小堺陽日さんが昨年度に続き、複数の全国規模の大会で活躍しました。秋の新人大会では、野球部とバレー部が合同チームでの参加となりましたが、野球部が4連覇を達成するなど、どの部も新チームで頑張っています。

本年度も、東京片貝会教育講演会を開催していただきました。講師の郷貴大様からは、演題「運動と科学」に基づき運動が及ぼす睡眠や学習のリットについて、実際に体を動かしながら、具体的に教えていただきました。誠にありがとうございました。

■会員訂報

芝 満雄 様(昭31陽光会)
丸山 春 様(昭5昭五会)

■あとがき

今年度はコロナ禍で異例の1年でしたが、新しい生活様式のもと徐々に日常に戻ってきているように思えます。良い新年をお迎え下さい。(小林・徳永・安達・相崎)